



地域全体で患者さんを診るシステム

「ふくいメディカルネット」



福井県では全国に先駆け、県内の医療機関の情報をつなぐ新しい情報ネットワーク、「ふくいメディカルネット」をスタートします。

近年における、医療の高度化、専門化に伴い、医療機関が連携し、患者さんを診ることが求められています。

「ふくいメディカルネット」では、医療機関同士が診療情報を共有することで、患者さんはどこに住んでいても、どこの病院に転院しても、継ぎ目のない医療を受けることをめざしています。

地域全体で患者さんを診る体制づくりで、安全・安心の医療を広げていきます。



県内の医療機関をつなぐ
新しい情報ネットワーク、
「ふくいメディカルネット」が
始まります。



患者さんのメリット

遠方の病院で受けた検査結果等を、身近なかかりつけの診療所等で閲覧できることにより、どこに住んでいても良質で先進的な医療サービスを受けることが可能になります。また、他の病院で受けた検査結果やお薬の内容などが有効に活用でき、よりスムーズに適切な診断・治療を受けることができます。

地域全体で患者さんを診る

ふくいメデ



システム

イカルネット

医療機関のメリット

閲覧医療機関（かかりつけ医など）は病院に紹介した患者さんの経過をシステムを通じて閲覧でき、退院後の受け入れをスムーズに行えます。また、過去の治療内容も確認できるので、病院から紹介された患者さんに適切な診療を提供することができ、医療の質の向上を図れます。



参加 医療機関 一覧

閲覧医療機関

福井県医師会会員医療機関 130機関（予定）

情報開示病院

- | | |
|--------------|----------------|
| ◎福井県立病院 | ◎福井社会保険病院 |
| ◎福井県済生会病院 | ◎越前町国民健康保険織田病院 |
| ◎福井循環器病院 | ◎公立丹南病院 |
| ◎福井赤十字病院 | ◎市立敦賀病院 |
| ◎福井総合病院 | ◎国立病院機構福井病院 |
| ◎嶋田病院 | ◎杉田玄白記念公立小浜病院 |
| ◎福井大学医学部附属病院 | ◎社会保険高浜病院 |

診療情報の共有

連携先の医療機関に、カルテ情報（サマリ）、処方・注射情報、検査結果、画像、レポートなどの診療情報を提供することが可能です。これにより紹介のうえで必要な治療計画が確認でき、患者さんも安心して申し送りが可能です。

The screenshot displays the HumanBridge EHR interface. At the top, it shows patient information: 施設患者IDなし, ワカサ ハナコ 若狭 花子, 1941年04月21日生, 72歳 11ヶ月 11日, and さいせん病院 福井 太郎. Below this is a navigation bar with tabs for 'カルテ', '病名', '検査歴', '画像レポート', and '患者メモ'. A central calendar view shows a grid of dates from 2010/2/5 to 3/3, with icons representing various medical events like '医師の記載', '看護士の記載', '検査結果', '画像', 'レポート', '処方', and '医師のメモ'. On the right, a detailed view of a medication order is shown, including the date 2010/02/25, the doctor 嶺北一郎, and the medication 'アーチスト錠10mg' with a dosage of 1錠 daily and a duration of 30 days.

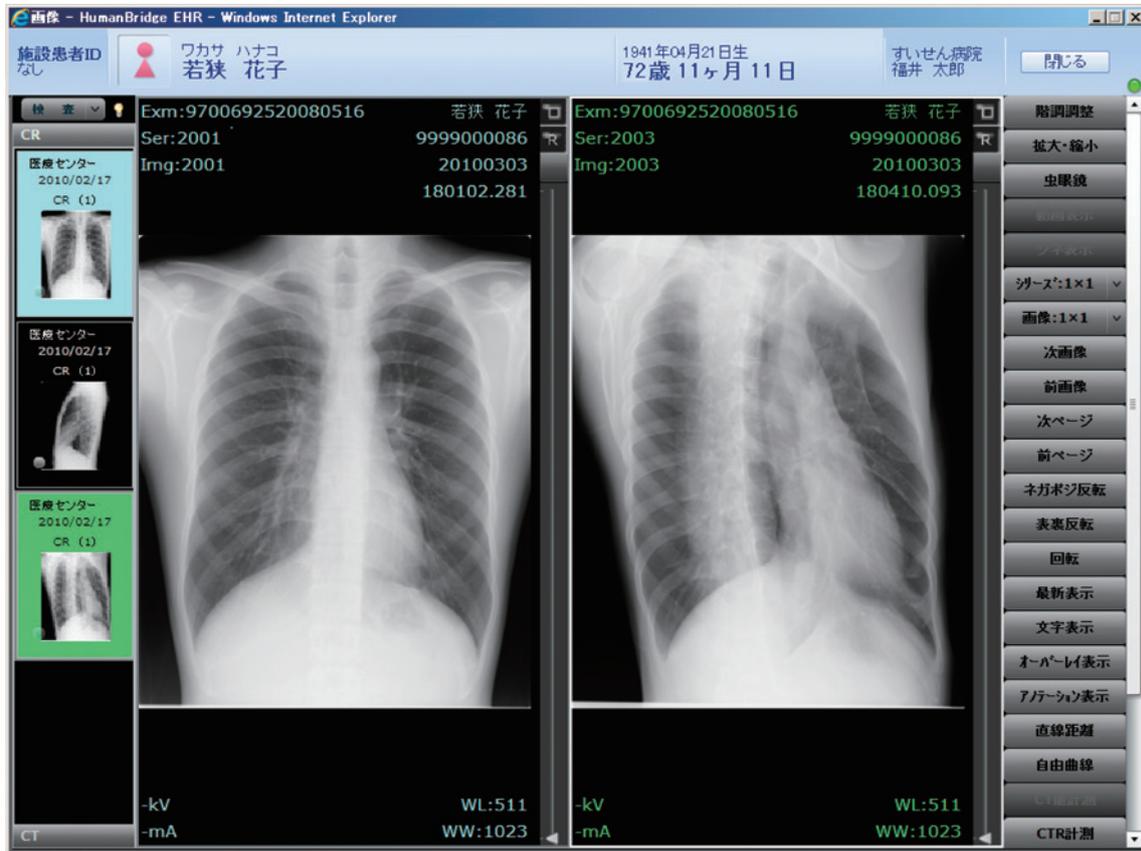
基礎情報	患者基本情報
	身体情報
	診断名
検査結果情報	検査結果
	検査レポート
	読影レポート
	画像データ

診察情報	医師の記載
	看護サマリ
	退院サマリ
	オーダ（処方・注射）
その他	メモ情報
	添付ファイル

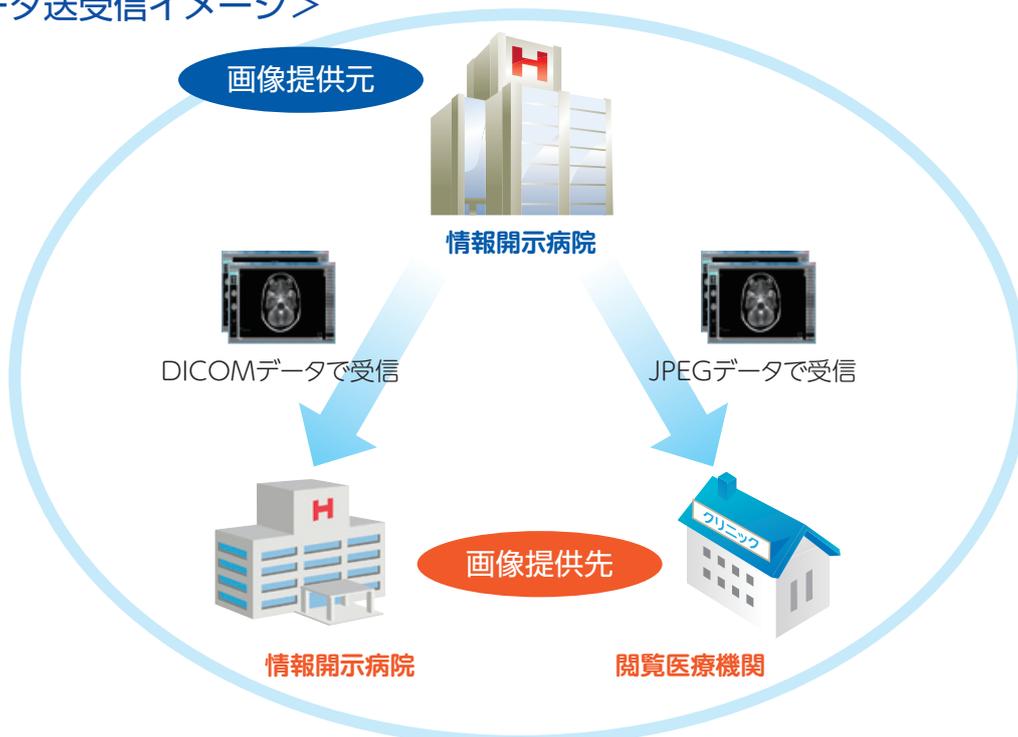
※公開内容は情報開示病院ごとに異なります。

画像参照・画像送信

情報開示病院で患者さんの同意後に、特定医療機関に公開されたデータについては、閲覧医療機関で参照が可能です。参照時に同時に他の医療機関のデータが存在する場合には比較して確認することが可能です。また、情報開示病院同士での転院の際には画像情報を転院先で受け取ることが可能です。

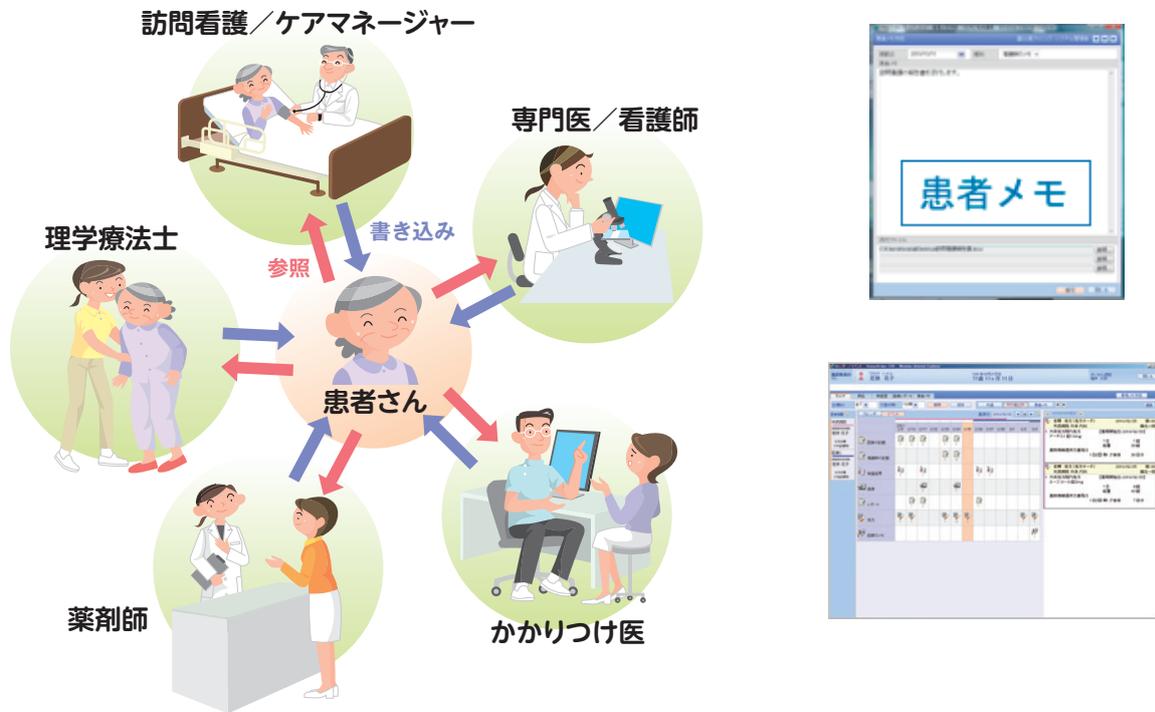


<データ送受信イメージ>



コミュニケーションツール（患者メモ）

ネットワーク上で主治医、専門医、担当看護師、理学療法士、訪問看護師など関係者と情報共有が可能です。治療方針の実施情報を患者メモに記入したり、必要ファイルをアップロードすることにより、チーム全体で患者さんの状況を共有することが可能です。



地域連携パス

ネットワーク上で地域連携パスの共有が可能。福井県内で運用している連携パスを共有でき、地域でスムーズな医療連携を実現します。

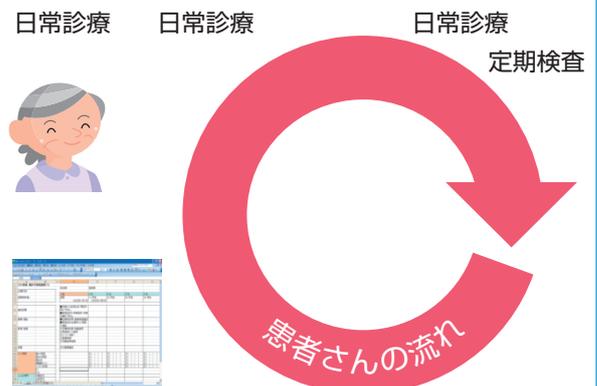
一方向型パス

脳卒中などの急性疾患に多く見られる連携形態に対応いたします。



循環型パス

急性心筋梗塞・狭心症連携パスやがんパスなどの循環型連携形態に対応いたします。



コミュニケーションツール（メール）

高いセキュリティの環境で、医療従事者同士の情報交換を促進します。



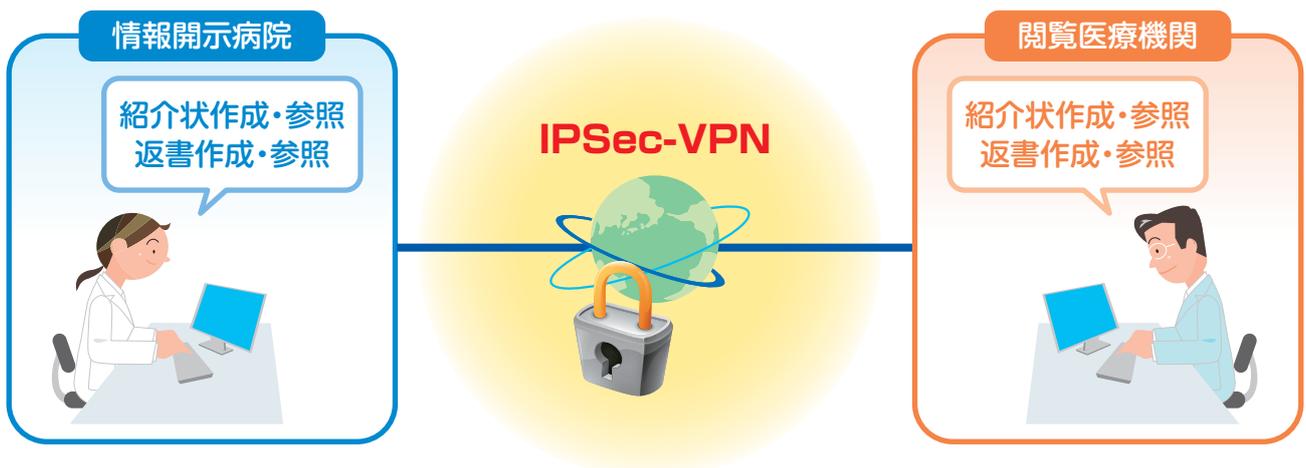
検査予約

情報開示病院の検査予約を参照し、情報確認しながら紹介先を調整することができます。



紹介連携（WEB 紹介状作成）

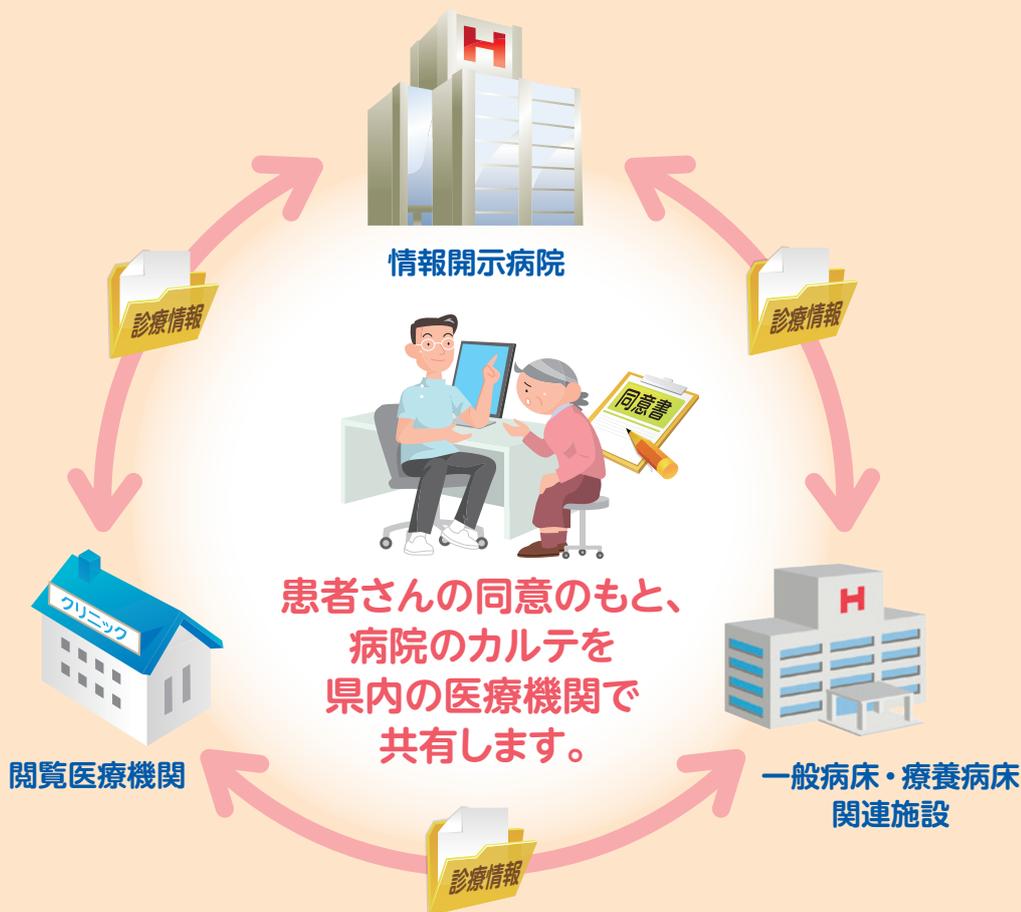
診療所などで治療を受けている患者さんを、必要に応じて高度な医療を受けられる病院へ紹介する「前方連携」と、病院で治療を受け、回復期に移行した患者さんをリハビリテーション施設や、かかりつけ医へと紹介する「後方連携」などにより、さらにシームレスな地域医療ネットワークを実現します。



ふくいメディカルネット (ふくい医療情報連携システム)

目的

情報開示病院と閲覧医療機関をつなぐ「ふくい医療情報連携システム」を用いて、診療情報を地域の医療機関で共有することにより、患者さんへの安全、安心な医療サービスを提供し、このシステムにより医療機関の連携をさらに進め、地域全体の医療の質の向上させることを目的とします。



情報開示病院は、開示に同意した患者さんに限り、カルテや画像等の診療情報を閲覧医療機関の医師に対して公開します。

- * 同意をした患者さんの情報のみが公開されます。病院の全ての診療情報が公開されるわけではありません。また同意はいつでも撤回できます。
- * 診療情報の公開・閲覧には各省庁のガイドラインに準拠したセキュリティを確保し、外部からの不正アクセス及び情報漏洩などを防ぎます。
- * システムの運用に際し、患者さんの費用負担は一切ありません。

患者さんのメリット

遠方の病院で受けた検査結果等を、身近なかかりつけの診療所等で閲覧できることにより、どこに住んでいても良質で先進的な医療サービスを受けることが可能になります。また、他の病院で受けた検査結果やお薬の内容などが有効に活用でき、よりスムーズに適切な診断・治療を受けることができます。

医療機関のメリット

閲覧医療機関(かかりつけ医など)は病院に紹介した患者さんの経過をシステムを通じて閲覧でき、退院後の受け入れをスムーズに行えます。また、過去の治療内容も確認できるので、病院から紹介された患者さんに適切な診療を提供することができ、医療の質の向上を図れます。

参加医療機関一覧

【閲覧医療機関】 福井県医師会会員医療機関 130機関 (予定)

【情報開示病院】 〇福井県立病院 〇福井県済生会病院 〇福井循環器病院 〇福井赤十字病院 〇福井総合病院 〇嶋田病院
〇福井大学医学部附属病院 〇福井社会保険病院 〇越前町国民健康保険織田病院 〇公立丹南病院
〇市立敦賀病院 〇国立病院機構福井病院 〇杉田玄白記念公立小浜病院 〇社会保険高浜病院

今後の展開

診療情報の閲覧は医療機関に限定していますが、今後は、在宅医療等への利用拡大も視野に入れ、訪問看護師等の医療専門職、また、調剤薬局や介護施設等でも必要な情報が閲覧できるよう展開していく予定です。